

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと
所 在 地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7
評価実施期間	2025年4月1日～2025年12月12日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	ベアキッズ四街道駅前園 ベアキッズヨツカイドウエキマエエン		
所 在 地	〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡2002番地10 フォーレ2F		
交通手段	総武本線四街道駅徒歩1分		
電 話	043-370-3203	F A X	043-370-3204
ホームページ	http://kikkakai.jp/		
経 営 法 人	株式会社橘花会		
開設年月日	2022/4/1		
併設しているサービス	一時保育		

(2) サービス内容

対象地域									
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
		9	10						
敷地面積	1552.23 m ²			保育面積			127.31 m ²		
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	健康診断・歯科検診								
食 事	自園調理								
利用時間	7:00～18:00 (延長19:00)								
休 日	日・祝・年末年始(12月29日～1月3日)								
地域との交流	地域子育て支援活動ベアっこ・なかよし								
保護者会活動	なし								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	7	3	10	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	8	0	1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	0	1	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	市役所へ申請	
申請窓口開設時間	午前8時30分～午後5時15分（土日祝祭日、年末年始を除く）	
申請時注意事項	四街道市様にお問合せ下さい。	
サービス決定までの時間	四街道市様にお問合せ下さい。	
入所相談	随時受付	
利用料金	四街道市様にお問合せ下さい。	
食事料金	なし	
苦情対応	窓口設置	有
	第三者委員の設置	有

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>保育理念 子どもの成長を第一に考え、ひとり一人の個性を大切に子どもを中心とした保育を行います。心地良い場となるような環境づくり、温かく丁寧な保育を心がけていきます。</p> <p>保育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全 安心 安定の中で子どもが伸び伸び活動できるよう援助する。 ●身の回りのことに対して興味や関心を広げ感性や意欲、表現力を養う。 ●保護者に寄り添い連携を大切に子どもの成長を共に喜び合う。
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2歳児まで年齢別保育に加え、兄弟姉妹のような異年齢児同士の交流。 ・体の体幹、音感を鍛える活動 ・毎日の戸外活動 ・自園献立に拘った美味しい給食
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>私たちが目指している保育は、子どもの成長を第一に考えた、温かな家庭的な保育です。全ての人々が平和に過ごせる家庭的な保育を実践するためには倫理観をもち、保護者に寄り添い、子どもの発達過程にあった命の尊厳を伝えていく事が大事だと考えております。</p> <p>子どもの発達段階にあわせて、方向目標を決め、感性や意欲、表現力を養いコミュニケーション能力豊かな自立した子どもを育みいじめのない全ての人々が幸福な環境をつくれるように進めていきたいと考えています。そのためには、配置基準よりも多めの職員を揃え職員会議等で全職員に情報の共有、子どもへのかかわり方を丁寧に行うことに重点を置き、業務を効率化することで、保育の事を考えたり、研修で職員能力向上を進める余裕ができることで子どもにとって、良い保育ができると考えております。心身ともに健康な子どもを育むために、リズム、体操に重点を置いて体の体幹、音感を鍛える活動を大事にしています。外部講師を招いて、実践的に取り組んでいます。</p> <p>今後も児童憲章、こどもの権利条約に基づき、連携前の1歳児から2歳児まで一体として捉えた保育を行い、こどもの人権や主体性・個性を尊重することを基本とします。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
遊びや生活の中で応答的に関りながら、こどもの主体性を尊重し援助・見守ることを大切にしている
こどもの主体性を育む環境作りに取り組んでいる。保育者はこどもに指示するのではなく、何をしたいのか問いかけ、こどもが次の行動に移れるような声掛けに心がけ、一人ひとりのこどもの気持ちや状況に寄り添うようにしている。こどもが興味を持って遊べるコーナーをつくり、好きな玩具や絵本を取り出して自由に遊べる環境や、自分でしようとする気持ちを遊びや生活の中で尊重し、援助・見守ることを大切にしている。
おいしく食べられることの楽しさや、食材への関心を深めるなど、食育に力を入れて取り組んでいる
こどもの食生活を大切にし、和・洋・中のメニューを豊富に取り入れている。食材そのものの味を感じられるように、薄味でもおいしく食べられるように工夫している。また、クッキング体験では、食材を切る前の形や感触を確認したり、とうもろこし皮むき、野菜スタンプなどで様々な食材に触れることを大切にしている。また、食育に関する絵本を用意したり、スプーンの持ち方、食事の時の挨拶など、食への関心を深める取り組みをおこなっている。
個別面談を定期的実施し、職員の意向を把握し、育成に取り組んでいる。
個別面談を年2回実施し、職員の意向を把握したり人材育成に取り組んでいる。面談前にはヒアリングシートを提出してもらい、体調や困っていること、人間関係などについて聞いている。また、2回目の面談では、振り返りシートで保育のセルフチェックをしてもらい、自己評価の低い内容について話し合うなど育成に繋げている。
課題と思う点
園の自己評価から見出した課題は、職員との共通理解のもと取り組むことを期待したい
園長及び職員は、保育の自己評価を毎年おこない、各保育の項目について実践を振り返り・評価している。園の評価実施シートでは、項目ごとコメントを記載するとともに、力を入れている点や工夫している点、及び改善する必要がある点をまとめている。課題については職員と共通理解を図り、質向上計画を立案し取り組むことが促される。
外部研修に職員を派遣し知識やスキルの習得を支援し、園全体の質の向上に繋げることも望まれる
年間の研修計画を作成しており、園長が講師となり毎月実施している。研修の受講後は、研修内容や成果、感想を報告書にまとめ提出してもらっている。キャリアアップなどの外部研修は、情報を提供して受講を勧めているが、参加者が少ないのが現状である。本人の目標に関係する研修や、必要な職員には園として受講してもらうなどの取り組みも期待したい。
保育園の特性を生かした地域の子育て支援が望まれる
利用希望者の園見学時にアンケートをおこない、地域の子育てニーズを把握している。今後は保育園が地域における子育て支援の拠点として、相談・助言や育児情報の提供など、保育の専門的機能を生かした保護者支援が望まれる。さらに、親子遊びや給食レシピの提供、絵本紹介など、地域の子育て中の人々が気軽に園に来て相談することができ、育児の不安が軽減されたり孤立解消の場となることが期待される。

(評価を受けて、受審事業者の取組み)子どもの主体性を大事にしている取組について温かいコメントをいただきありがとうございます。自己評価は経験、役職別に変更、改善点の共有等を行っていきたい。子育て支援は、四街道市では珍しく一時保育事業を行っており、事業を通して地域の子育て世帯の支援を行い相談等に乗っている点が伝わりにくかったようなので説明に努めたい。外部研修では大学教授等からの実践的な取り組みについての講義を行っていただく等しているが、小規模保育所という特性上余剰人数が少なく全員参加は今後も難しいため、参加者が園内に広める事に努める。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				☑実施数	☐未実施数	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0
				2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	5	2
		3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0
			職員の質の向上への体制整備	7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に言い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0	
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	4	1	
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0
				11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0
			利用者満足度の向上	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0
			利用者意見の表明	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0
		2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	2	1
			提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	3	1
		3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0
				17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者説明し、同意を得ている。	4	0
		4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0
				19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
			項目別実施サービスの質	20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0
				21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	非該当	非該当
				22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
				23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	非該当	非該当
				24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4	0
				25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0
				26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0
				27 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	3	1
			28 家庭との連携が十分図られている。	3	0	
			29 地域社会との連携が十分図られている。	非該当2	1	
		子どもの健康支援	30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0	
			31 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0	
			32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	3	1	
		5 安全管理	食育の推進	33 食育の推進に努めている。	5	0
				34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0
			35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	3	1	
		6 地域	地域子育て支援	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	5	1
				37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	1	4
		計				133

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園の保育理念や保育方針、保育目標を、事業計画書やパンフレット、ホームページ等に載せている。園内にも掲示して、いつでも確認できるようにしている。年度初めには、園の保育について共通の認識になるように園長が問いかけている。実践面はクラス会議や職員会議などで話し合っている。一方的な会議にならないように園長は職員意見を聞くようにしている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>入園時に「保育園のしおり」(重要事項説明書)を配布し、保育理念・方針等を説明している。しおりの最初のページには「基本方針」を載せ、こどもの成長を第一に考えた家庭的な保育を目指していることを具体的に示している。保育の実践面は保護者懇談会で説明したり、毎月の「園だより」や「給食だより」などで伝えている。個々には連絡帳や受け渡し時に担任が保護者に伝えている。保護者アンケートでも「毎日帰り際に今日はどうだったか教えてくれる」などの声が寄せられている。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人の中長期計画を踏まえ、単年度の事業計画を策定している。事業計画は園の現状を踏まえ本部が作成しており、内容は盛りだくさんであるが具体的であり、振り返りをしやすくしている。策定した事業計画は職員に回覧見てもらっている。行事計画などは職員が中心となり計画・実行している。年度末には計画の実施状況を確認し、事業報告書として纏めている。なお、事業計画には単年度の重要課題を明示することや、年度途中においても実施状況の確認・評価をおこない、成果や課題などを文章化することを期待したい。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員には入職時に重要事項説明書を配布し、保育理念や保育方針等を説明している。会議では保育理念・方針の実践面を話し合っており、職員意見を尊重している。園内研修も年間計画に基づいて毎月実施し、職員一人ひとりの知識や技術の向上の支援をしている。職場の人間関係に配慮しており、業務が偏ることがないようにしている。また、休憩時は職員間でコミュニケーションが取れるよう部屋が確保されている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的にも実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>倫理規定を制定し職員に配布している。個人情報取扱規程も作成されており、掲示をしたり昼礼で職員に説明している。職員からは入職時時に守秘義務等の誓約書ももらっている。虐待防止については、研修などでこどもの人権尊重について学んでいる。昨年度は不適切保育などを研修をしている。就業規則の服務規定などは職員に読んでもらっている。個人情報保護や虐待防止について、保護者には入園の際に「園のしおり」で説明している。</p>	

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
(評価コメント)			
業務の効率化のためITサービスを導入している。登降園管理や保護者との連絡や写真販売などに活用している。職員の有給休暇の消化状況は把握できており、少ない人には消化を促したり、希望休などに配慮している。保育士は充足している状況であり求人はしていない。園長は職員と年2回の個別面談をしているが、本部職員も年1度面談し、意向の把握に努めている。福利厚生では借り上げ社宅制度や予防接種の補助、テーマパークの割引利用などがある。また、退職金共済などに加入するなど職場環境を整えている。			
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント)			
人材育成方針が明文化されており、職種別・役割別の能力基準や評価基準を明確にしている。業務分担当表も作成しており、園長や副主任、保育士等の業務を明確にしている。人事考課においては、保育の理念・保育感・保育指導計画・乳児保育などの評価基準を明示している。年2回の職員の自己評価をもとに、園長が上長評価をおこない個別に話し合っている。また、面談前にはヒアリングシートを提出してもらい、体調や困っていること、人間関係などについて聞いている。また、2回目の面談では、振り返りシートで保育のセルフチェックをしてもらっている。評価結果は園長が本人にフィードバックしている			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント)			
職員の育成方針を事業計画に載せて取り組んでいる。人員については運営規定に職員の配置を明記しており、それに基づいて配置をしている。現在、職員は充足しているが、これまで養成校への訪問や就職説明会に参加したり、求人広告やWEBサイトで募集をしていた。なお、職員の離職の防止・定着に向けて、継続した取り組みを期待したい。			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント)			
法人の中長期の人材育成方針が明文化され、職種別・役割別の能力及び評価基準を明示している。年間の研修計画を作成しており、園長が講師となって毎月実施している。研修の受講後は、研修内容や成果、感想を報告書にまとめ提出してもらっている。キャリアアップなどの外部研修は、情報を提供し受講を勧めている。また、職員の育成のため目標管理の仕組みを取り入れており、職員には年度初めに個別目標を設定してもらい、年2回の面談で園長が助言するなど、一人ひとりの育成に取り組んでいる。新人職員にはクラス担任がOJTで指導・教育をしている。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント)			
子どもの尊重や基本的な人権への配慮について、倫理規定に沿って園内研修を実施し理解を深めている。権利擁護の取り組みとして、虐待防止及び対応マニュアルを作成し、職員に周知している。日常の援助では、時間が来ても遊びたい気持ちを尊重して保障している。また、不適切な言葉遣いが見られた場合は園長が注意をしている。年2回保育士にはセルフチェックをってもらうなど、権利擁護への意識づけを図っている。			
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
個人情報の取り扱い規程を明文化し、ホームページや玄関に掲示している。取り扱い規定では、方針や利用目的、個人情報の適正管理、データの開示などを明記している。職員は入職時に誓約書を提出し、実習生からも誓約書もらっている。保護者には、入園時に園のしおりをもとに個人情報の取り扱いについて説明し、運動会や夏祭り等の行事での写真は、SNSに載せないように伝えている。			

12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
保護者が参加する運動会や夏祭り、保育参加・試食会などの行事後にはアンケートを取り、感想や意見を聞いている。保護者からの「先生の名前が分からない」との声を受けて、行事の際は名札を付けることにした。送迎時には担任ばかりではなく、職員は誰でも保護者と挨拶を交わしている。また、送迎時は保育室に入ってもらい、担任と話をしやすい環境をつくっている。相談ごとがあれば園長が対応している。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
苦情や意見を受け付ける体制を整えており、苦情受付担当者や苦情解決責任者及び第三者委員を設置し、重要事項説明書に載せて入園時に説明している。苦情解決の規定を整備しており、苦情を受け付けた場合は、解決までの流れを受付書や報告書、終了書に記録することになっている。現在までのところ苦情は受けていない。			
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
毎年、職員は保育の自己評価をおこない、実践の振り返りを行っている。また、事業計画書には保育内容や安心・安全のための対策、園児等への配慮、給食に対する考え方、非常時及び事故発生時の安全対策などを盛り込みでいる。年度末には取り組みを振り返り、事業報告書としてまとめられている。第三者評価は初めての受審であり、結果を公表することになっている。			
15	提供する教育及び保育の標準の実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的の実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
各種のマニュアルを整備しており、いつでも閲覧できるよう事務室に保管し、新人職員には全てに目を通してもらうようにしている。園内研修では、研修内容に関連したマニュアルを説明したりしている。マニュアルの見直しは職員会議での意見を踏まえおこない、変更点は回覧をして周知している。見直し後は更新記録を残している。最近では水遊びの準備の手順などを作成したり、業務継続計画の修正内容を確認している。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
園への問い合わせや見学は電話で受け付けているが、ホームページからも問い合わせができるようにしている。パンフレットにもWEBとSNSの二次元コードを載せ、情報を入手しやすくしている。見学は午前中から対応しており、自然な様子を見てもらうとともに、主体性を育てることなどの園の特色を伝えている。見学は園長が対応し、パンフレットをもとに行事のことなどニーズに応じた説明をして、終了後は口頭で感想を聞いている。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
入園が決まった保護者には、個別面談で重要事項説明書をもとに園の基本方針や保育理念・方針・目標をはじめ、保育の特徴や安心して過ごせる生活の場であることなど、大切なことを説明し同意書ももらっている。保護者の状況や意向は事前に配布した書類で確認しており、面談では利用時間や時間外保育、土曜日の利用、アレルギーの有無など聞いている。「慣らし保育」も、こどもに合わせるなど伝えている。「園のしおり」は大きな文字で読みやすく、表なども入れて分かりやすくしている。「園のしおり」をコンパクトにした「入園案内」も作成するなど工夫をしている。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
全体的な計画は保育理念、保育方針、保育目標、こどもの保育目標に基づき、1歳児及び2歳時の養護と教育のねらいや内容、配慮事項等をまとめ、こどもの発達や生活状況の見直しをもって作成されている。また、健康支援、食育の推進、環境及び衛生管理と安全管理、災害への備え、子育て支援などを盛り込んでいる。全体的な計画は、年度末に全職員で振り返り共通理解のもと見直すことにしている。			

19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画に基づいて、年齢別に年間指導計画(4期ごと)、月案、週案と短期的指導計画を作成している。1歳児、2歳児、特別に配慮が必要なこどもについては担当制をとり、毎月こどもの生活リズムや心身の発達、言語など指導計画を個別に作成している。職員会議では気になるこどもへの配慮などについて確認し、月末に振り返り、全職員が共通理解を持って保育にあっている。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント)			
職員はこどもに指示するのではなく、何をしたいのか問いかけ、こどもが次の行動が取れるような声掛けに心がけて、こども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら保育している。玩具は年齢の発達や興味に合わせて各クラスで定期的に購入している。遊びのコーナーをつくり、こどもが好きな玩具や絵本を取り出して自由に遊べる環境にしている。また、ファスナー、チェーン、ひも通し、ボタンはめ、空ペットボトルなどの手作りおもちゃもある。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
非該当			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
こどもの発達に合わせて、遊びや身の回りのことなど、「自分でやりたい」という気持ちを受け止め、見守りながら関わりを持っている。友だちとの関りについては、自分の気持ちが上手く伝えることができない時は、職員が仲立ちして人との関わり方を丁寧に伝えている。おもちゃなどの玩具や絵本を各コーナーにまとめ、こどもが主体的に遊べるように環境設定している。保護者とは連絡帳や送迎時などに連携を図っている。また、必要に応じて保護者の相談に応じるなどしている。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
非該当			

24	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント)			
日常的に散歩に出かけ、自然物や動植物に触れて自然の変化の中でさまざまなことへの気づきや、園が入っているビルの管理人や八百屋さんたちと挨拶を交わすなど地域の人たちに接する機会となっている。ビル近くの駐車場を借りての水遊びや、駅前ロータリーで消防署に協力してもらい避難訓練を実施するなど、地域とのつながりを大切にしている。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。
(評価コメント)			
ケンカやトラブルが発生した場合は、否定的な言葉は使用しないように、助言や見守りなど年齢に応じて言葉かけをしている。決まりを理解できるように「どうすればいいのかな」「待ってようね」などと、お互いのこどもの気持ちを受け止めるやり取りを通して、決まりの大切さに気づけるように心がけている。朝、夕方の時間帯や散歩、夏祭り、クリスマス会などは異年齢保育をおこない、生活や遊びの中で一緒に過ごせる楽しさを大切にしている。			
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
(評価コメント)			
特別に配慮を必要とするこどもには担当職員を配置し、行動パターンを理解しながら個別指導計画を作成し全職員で支援している。市の研修や会社研修に参加して専門性を高めるよう努めている。保護者の気持ちを受け止めながらこどもに寄り添い、関りや援助方法など全職員が共有理解を持って関わるようにしている。今後は更に障害児保育に関する外部研修への参加や内部研修を通して専門性を高め、こどもとの関り方や援助方法などを向上させることを期待する。			
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが安心・安定して過ごす適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント)			
担任が担当職員に口頭や日誌などで申し送りをしている。保護者には必要に応じてこどもの様子を伝えている。職員はこどもが不安にならないように関わりながら、ゆったりと安心して好きな遊びを楽しめるように努めている。早番、遅番の研修は実施されていない。長時間保育については、全職員で延長保育に関する問題点を出し話し合うこともよいと思われる。			
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント)			
保護者の登降園時の会話や連絡ノートで、健康状態や家庭の様子などについて確認している。年2回の個人面談や年1回の保育参加、参観、懇談会などを実施し、園の生活や遊びなどを伝えている。こどもの発達や育児に関する相談内容については、相互を理解しながら信頼関係の構築に努めている。現在はいないが、外国籍やひとり親家族など特別に配慮を必要とする家庭については、職員間で共通理解を持って支援していきたいとしている。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
(評価コメント)			
1、2歳児までの小規模保育園のため、チェック項目の2と3については非該当である。現況では、3歳児からの受け入れ体制が整っている連携園に、こどもの情報を提供できるようにしている。地域との関わりについては、今後が期待される。			

30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント) 虐待防止については保育園のしおりに記載し注意喚起をしている。現在、家庭で虐待の疑いがある子どもはいないが、不適切な養育の兆候が見られた場合は、オムツ交換時や着替えの時などに心身の状態を観察し、早期発見や速やかな対応をすることとなっている。また、こどもの虐待が疑われる場合は関係機関、行政機関に通報することとしている。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント) 保健計画は園長が作成し、副主任と保育者が連携をして健康管理に努めている。内科検診、歯科検診は年2回、身体測定は毎月おこない、健康カードに記載し、健康診断の結果は書面で保護者に知らせている。また、予防接種は保護者にその都度、健康カードに記載してもらっている。登園時に検温や視診をおこない、健康状態を把握し記録している。各クラスの子どもの健康状態は連絡帳や引継ぎの申し送りなどで把握している。乳幼児突然死症候群予防として1歳児、2歳児は10分毎にチェック表に記載している。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント) 感染発生時における業務継続計画を策定している。保育中に体調変化や傷害などが発生した場合は、園長に報告し、こどもの状況に応じて保護者に連絡するとともに、嘱託医に相談して受診をするなど早急な対応をおこなっている。季節の感染症や疾病などは玄関に掲示し、「園だより」で情報を知らせている。嘔吐、下痢用のセットを常備し、感染拡大しないように努めている。こどもの感染・疾病対応の備えとして、薬品を常備し、定期的に薬品の点検をしている。なお、事業継続計画が策定されているが、職員や保護者への周知も望まれる。			
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント) 栄養士が年間食育計画を作成している。食育の活動は職員会議で話し合い、年齢に応じて体験を実施している。クッキング体験として、食材の切る前の形や感触、どうもろこし皮むき、野菜スタンプなど、様々な食材に触れられるようにしている。こどもが苦手な食材が出た時には、「一口食べてみようか」「給食の人が一所懸命作ってくれたから味見しようか」など声掛けもしながら、こどものペースに合わせて、無理なく食べられるように援助している。アレルギーについては除去食で提供している。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント) 保育室には温度・湿度計、加湿器を設置しており、快適に過ごせるようにしている。玩具・床の消毒は毎日おこない、布製の玩具については週に1度、洗濯して衛生管理に努めている。保護者・職員は入室する時にアルコール消毒を徹底している。室内の掃除が行き届き、整理・整頓がされ、こどもが快適に生活できる環境になっていることが確認できた。			

35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
事故発生マニュアルを整備し、いつでも確認できるようにしている。事故やヒヤリハットが発生した場合は、職員会議で原因を分析するようにしている。毎月、園の危険箇所を点検表の項目に沿って確認し、園内外の環境整備に努めている。ヒヤリハットの書式は作成しているが、情報が少なく職員間での認識の相違が感じられた。事故を未然に防止することを全職員の共通理解のもと取り組むことが望まれる。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
保育安全計画を作成してWEBサイトで公開し、保護者や職員がいつでも確認できるようにしている。避難訓練は年間計画に基づいて毎月実施している。災害時マニュアルも整備し、職員の役割分担や連絡体制などを明記している。安否確認は携帯アプリを活用し、メール登録をしてもらい、定期的にテスト配信をして緊急時に備えている。消防署の立ち合いのもとで、地域の住民も一緒に消火訓練もおこなっている。災害時における業務継続計画は職員や家族にも周知するよと思われる。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
見学アンケートで子育てニーズの把握に努めている。今後は地域の親子への子育て支援に関する相談・助言や育児情報の提供など、園の専門的機能を地域の子育て世帯に開放するなど、地域支援への取り組みが期待される。			